

# 美しい 県土づくりNEWS



2007年

5月

岩手県県土整備部  
手づくり広報誌 34号  
平成19年5月8日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 県土整備部施策推進方針
- 3 産業振興 大船渡港に外資コンテナ定期航路開設
- 5 安全・安心 新たな防災情報「土砂災害警戒情報」を発表
- 7 地域とともに歩む鷹生ダム(前編)
- 13 官民協働 ー第2回岩堰川フォーラムー
- 16 環境共生 津付ダム周辺環境検討委員会を開催
- 17 パートナー紹介～市町村紹介～(大船渡局)
- 18 いわたのまちづくりー松園ニュータウン再生・活性化
- 19 猿ヶ石さくらロード「スプリングサイクリング」開催
- 20 みんなの声 県政提言から
- 22 お知らせ 第1回住まいる講座 他
- 23 八幡平アスピーテライン・樹海ラインの冬期通行止解除!
- 24 2007 東北地方道路写真コンテスト 作品募集!!
- 25 「まちなみ清爽隊」を募集しています

## 岩手の風景

### ユニー航空チャーター便 岩手初就航!

ユニー航空(台湾)のチャーター便が4月16日、いわて花巻空港に到着しました。いわて花巻空港を利用したチャーター便を運航した台湾の航空会社は、ユニー航空で4番目となります。当日は、空港到着ロビーにおいて歓迎セレモニーが行われ、同社の陳副総経理(副社長)等の関係者に本県の記念品を贈呈しました。到着した一行は、このあと東北各地の観光スポットを巡り、春の東北を堪能しました。



今後もユニー航空は、5月10日まで計13便が運航される予定。  
台湾からのお客様は、東北の桜や温泉、郷土料理などを楽しまれるそうです。



# 平成19年度県土整備部施策推進方針

県民の生活に必要な社会資本を適正に管理し、必要な整備を行うことにより  
「県民から信頼される県土づくり」を目指します。

## 主要課題

### 1 災害に強い県土づくりの実現

- 地震・津波対策  
～高い確率で発生が予想される「宮城県沖地震」への対応を進めます。～
- 洪水・土砂災害対策  
～災害の未然防止を図るため「ハード」、「ソフト」両面から対策を進めます。～

### 2 産業の振興を支援する交通ネットワークの構築

～ものづくり産業、農林水産業、観光産業など県内の各産業を支える基盤となる交通ネットワークの構築を進めます。～

### 3 県北・沿岸振興

～圏域の産業振興を支援する事業や住民の安全・安心を確保する事業に取り組めます。～

### 4 戦略的な維持管理

- アセットマネジメントの実践による計画的・効率的な維持管理  
～大量施設更新時期の到来に備え、計画的・効率的な維持管理を進めます。～
- 地域住民の参画協働による維持管理  
～住民生活に身近な仕事を住民との協働により進めます。～

### 5 快適な生活環境と都市基盤の整備

- 人口減少、高齢社会に対応した「まちづくり」の推進  
～速いスピードで進む本県の人口減少、高齢化に対応するため、コンパクトでユニバーサルデザインに配慮した「まちづくり」を進めます。～
- 汚水処理人口普及率の向上に向けた取組みの推進  
～全国と比較し、低い状況にある「汚水処理人口普及率」の向上に向けて取り組めます。～

### 6 建設業における構造改革の推進

～「建設業対策中期戦略プラン」に基づき、建設業の構造改革を進めます。～



# 産業振興 大船渡港に外貨コンテナ定期航路開設

## 港 湾 課

大船渡港に本県初の外貨コンテナ定期航路※が開設され、4月21日に第1船が入港しました。

### ※ 外貨コンテナ定期航路

コンテナ定期航路とは、週1便、2便といったように決まった期間で、決まった寄港地を通る海上輸送航路のことです。「外貨」とは、文字どおり外国との貿易による航路です。

大船渡の場合は、韓国の興亜海運(株)という船会社が、週1回、大船渡港と韓国の国際的な中枢港である釜山港を結びます。

船は、1週間かけて、釜山港から福島県の小名浜港を経由して大船渡港に寄港、大船渡港から仙台塩釜港を経由して釜山港に戻るというルートです。

大船渡港からは、県内陸部の工業団地で製造された工業製品や気仙沼方面の水産品などの輸出が見込まれていますが、運ばれた荷物は、釜山港を拠点に中国、東南アジア、ヨーロッパ、アメリカなど世界各国へと輸出することができます。また、輸入品としては、木材や雑貨類などが見込まれていますが、各国からの荷物が釜山港を経由して大船渡港に入ってきます。

### 航路が開設されるまで

航路の開設に当たっては、地元大船渡市を中心とした経済界の方々が「大船渡国際港湾ターミナル協同組合」を設立したうえで、コンテナ荷役のためのクレーンを整備しました。一方、県では、外貨用の船を受け入れるため、新しいグレーン用に岸壁補強を行ったり、警備を強化するためのコンテナターミナルのフェンス、照明、監視カメラ、また、冷凍コンテナ電源などを整備するなど、官民一体で開設実現に向けた準備を進めてきました。

そして、去る3月1日に増田知事(当時)立ち会いのもと、興亜海運の崔(チェ)社長と甘竹大船渡市長との間で、「覚書」が交わされ、航路の開設が決定したものです。

旅客フェリーと異なり、コンテナ定期航路は県民の方々にはなじみが薄いかもかもしれませんが、航路が開設されることにより、県内企業の製品の搬入搬出にかかる物流コストが低減し、企業競争力の強化や雇用の拡大、新規企業立地に波及するなど、産業の振興に大きく貢献することが期待されます。

また、貨物を陸上輸送から海上輸送にシフトすることで、CO<sub>2</sub>の発生量が削減され、地球温暖化防止に寄与することも期待されます。





コンテナ船とターミナル全景



コンテナ積み込み作業



# 新たな防災情報「土砂災害警戒情報」を発表開始

砂防災害課

近年、全国的に集中豪雨が多発し、土石流などにより多くの被害が発生しています。地球温暖化が進めば、さらに増えるといわれています。

大雨が降り続く中で土砂災害の発生を正確に予測することは極めて難しいですが、気象の予測技術や情報通信技術の飛躍的な発展により、実際の雨量と過去の災害情報をもとに土砂災害の危険度を計算し、発表することができるようになりました。

次に平成19年3月から発表開始した土砂災害警戒情報について概要をお知らせします。

## 1 土砂災害警戒情報って何？

土砂災害警戒情報とは、大雨によって土砂災害が発生する恐れが高まった時に、市町村長が発令する避難指示等の判断の支援や住民の自主避難の参考となるよう、県と盛岡地方気象台が共同で発表する新たな防災情報です。

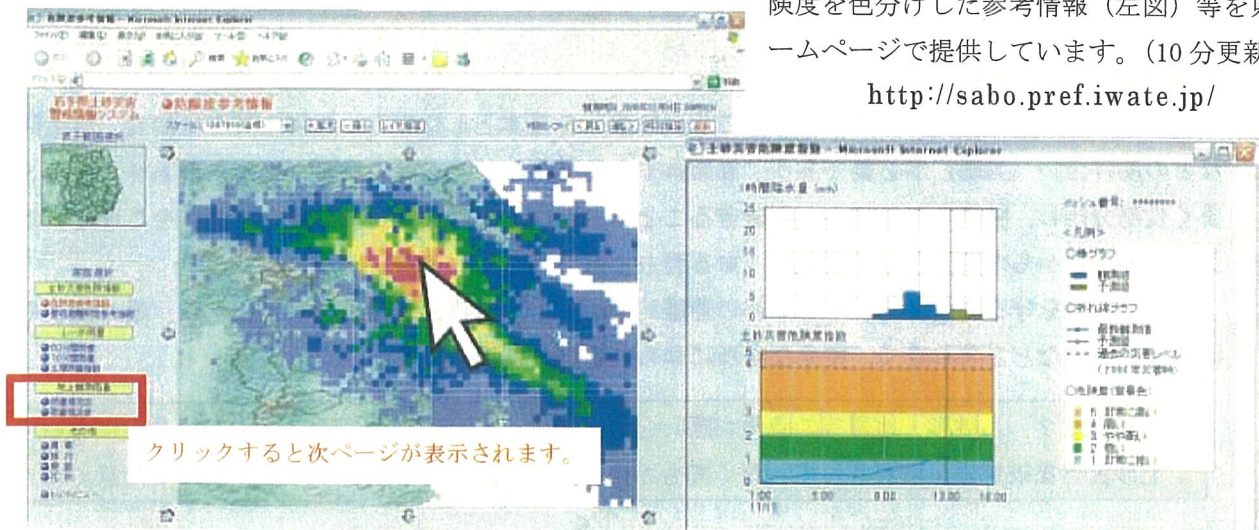
## 2 どんなときに発表されるの？

過去に土石流やがけ崩れが多発した雨量に基づき基準を定め、大雨警戒が発表された区域を対象に、今後の予測雨量が基準を超過したときに発表します。発表は市町村単位とし、避難等のために必要な時間を考慮して早めに発表します。

## 3 発表の伝達ルートは？

発表は、市町村や関係機関・広域振興局等には盛岡地方気象台から、県民の皆様にはテレビ・ラジオから伝達されます。また、補足情報として、県内5km四方ごとの危険度を色分けした参考情報（左図）等を県ホームページで提供しています。（10分更新）

<http://sabo.pref.iwate.jp/>

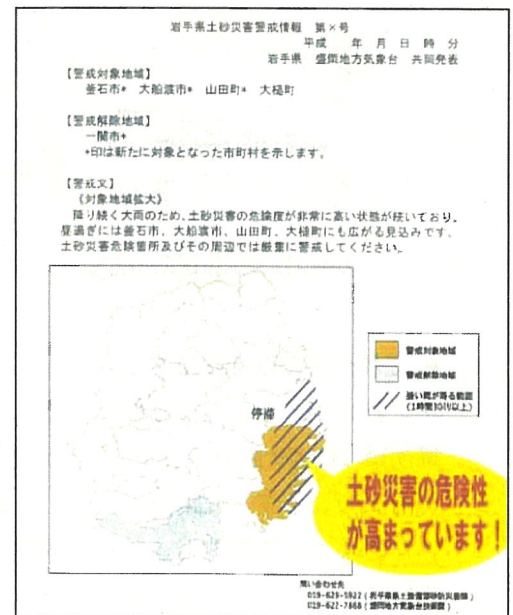


担当者

砂防災害課 砂防担当  
主任 小山 隆春  
一関市千厩町出身

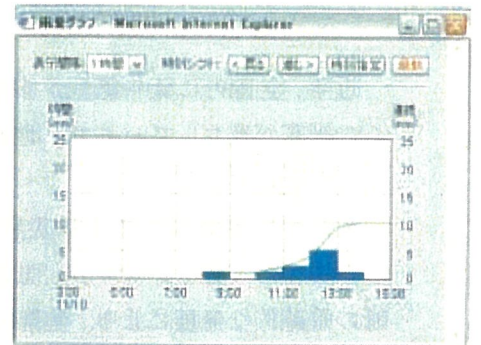
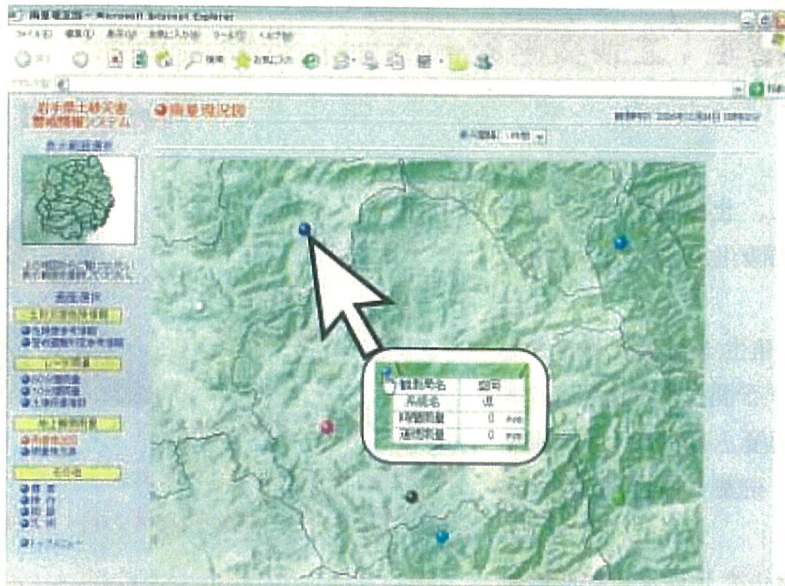


防災対策が効果を発揮するためには、人が動かないと何ともなりません。災害から人命を守るために、早めの避難が最も重要です。



土砂災害警戒情報の発表文(例)





450 日分の時間雨量を表やグラフで見ることができます。

■岩手県のホームページからもアクセスできます！

①

注目情報  
→ 防災・災害

<http://www.pref.iwate.jp/>

②

土砂災害警戒情報（補足情報）【砂災害譯】

いわて防災情報ポータル

県内の様々な防災情報を把握するための総合サイトとして、**いわて防災情報ポータル**を作成しました。「お気に入り」に登録し、ご活用ください。

#### 4 これからの取組みは？

これまでの土砂災害対策は、えん堤や擁壁の整備などハード対策を中心に進めてきましたが、県内の危険箇所は 14,000 箇所以上あり、全てを整備するには多大な費用と時間が必要です。

そこで、まず、危険箇所については、住民の方たちに自分たちの住まいが危険な箇所にあることを知っていただくことを優先し、土砂災害警戒区域等の指定を進めているところです（平成 19 年 4 月現在で 632 箇所指定済み）。また、危険な区域にお住まいの方に対しては、住宅を移転していただく補助制度として「がけ崩れ危険住宅移転促進事業」も併せて進めています。

土砂災害警戒情報のシステムはまだできたばかりです。“いつ危ないのか、どこが危ないのか、どこに逃げたらいいのか”などがすぐにわかるよう、避難所の位置や指定した土砂災害警戒区域をシステムで見られるようにしていく予定です。

#### 5 何よりも早めの避難を！

防災において、自分の身は自分で守ること（自助）を基本としながら、近隣住民や自治会、自主防災組織などの助け合い（共助）が必要であり、自治体や公的機関などの支援や救助（公助）があり、この 3 助がうまく役割分担し、機能して災害から身を守ることができます。行政の「知らせる努力」をご理解いただき、災害への普段からの備えとして住民の「知る努力」も期待したいと思います。

災害から命を守るには、何よりも早めの避難が大切です。土砂災害警戒情報が出たら、雨の強さや土砂災害の前兆現象などと合わせて、安全な場所に早めの避難をお願いします。

■注意点は？ 地形・地質等の条件が悪いところでは、局所的な豪雨など大雨の降り方によって、土砂災害警戒情報が発表されていなくてもがけ崩れ等が起こることもありますのでご注意ください。



# 地域とともに歩む鷹生ダム（前編）

## 鷹生ダム建設事業を振り返る



ダム建設前の写真



最高水位到達時の写真

鷹生ダムが完成した。建設事業がスタートしたのは平成元年度、以来 18 年間の長い歳月をかけての大規模事業が節目を迎えた。この間、多くの皆様の協力を得て完成した鷹生ダム建設事業を振り返り今後の事業に活かしてもらおうと、「鷹生ダム工事誌」に寄せられた寄稿などを中心にまとめたレポートです。5月号、6月号で2回に分けて掲載します。

編集：前鷹生ダム建設事務所（現釜石地方振興局水産部）技師 藤原 慎



## 鷹生ダムの概要

鷹生ダムは、五葉山を源として流れる二級河川盛川水系鷹生川に建設された多目的ダムである。

盛川沿川は昭和 52 年、54 年の大雨等により家屋、田畑の浸水や河岸の決壊など大きな被害が発生した。また、昭和 48 年の異常渇水では給水制限が発令されるなど治水・利水面において非常に不安定な土地であった。



昭和 52 年 5 月 15 日豪雨被害



昭和 48 年異常渇水新聞記事

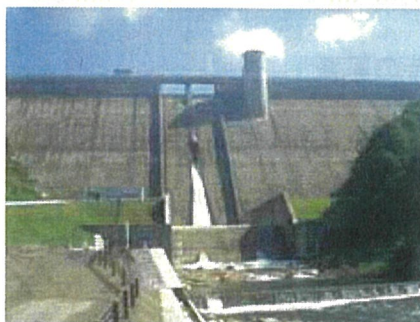
これまでも、河川改修などは行ってきたが、県ではこのような状況を踏まえ昭和 53 年度からダム建設の基礎となる「予備調査」に着手し、昭和 60 年度に「実施計画調査」、平成元年度に建設採択を受け、ダム建設に本格着手した。大船渡地域の治水・利水に新たな「風」が吹き込んだ。

鷹生ダム建設の目的は以下の 3 つである。

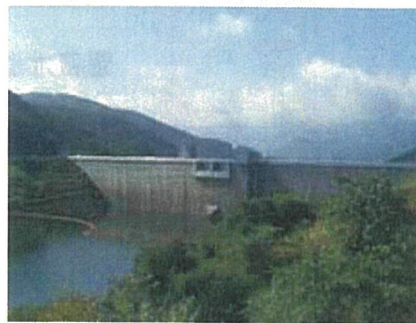
- 1 洪水調節：鷹生ダムで洪水調節を行い、盛川沿川地域の被害を防除する。
- 2 河川環境の保全：盛川沿川の既得用水（農業用水等）の補給及び河川流量が減少した時に鷹生ダムより補給する。
- 3 水道用水：大船渡市に対し新たに 4,630 m<sup>3</sup>/日（0.054 m<sup>3</sup>/s）の取水を可能にした。

### 鷹生ダムデータ

水系 : 二級河川盛川水系鷹生川  
堤高（ダムの高さ） : 77.0m（太平洋セメント煙突の高さの約半分）  
堤頂長（ダム天端の長さ） : 322.0m  
総貯水量 : 9,680,000 m<sup>3</sup>（25m プールで約 30,976 杯分）  
堤体積（ダム本体の体積） : 328,000 m<sup>3</sup>（ミキサー車で約 82,000 台分）  
総事業費（付替道路建設費用やダム本体建設費用などの合計） : 325 億円



ダムを下流側から望む



ダムを右岸上流から望む



## 鷹生ダムの周辺環境

鷹生ダムがある大船渡市日頃市町は、岩手県沿岸南部の最高峰五葉山の麓に位置しており、周辺は県立自然公園に指定されるなど自然豊かで風光明媚な場所である。五葉山の登山口となる赤坂峠にはつつじの群落、登山道の途中にはしゃくなげの群落がある。また、鷹生ダム直上流には沿岸部で始めて湧出した温泉「五葉温泉」があり、鷹生ダムや周辺の壮大な自然を見ながら入浴することが出来る。



しゃくなげの湯っこ五葉温泉



五葉山のつつじ

## 新生! 鷹生ダム建設事務所スタート

平成元年4月、北栃啓輔（きたとち けいすけ）は鷹生ダム建設事務所の初代所長として大船渡市に赴任した。当時の建設事務所は、国道45号沿いにある小さな建物。しかし仕事の内容は移転者の生活再建という大きな仕事が待ち受けていた。

「移転者の皆さんには長年住み慣れた土地から移転をお願いしなければならない」、北栃は大事業に誠心誠意取り組むことを決意した。

地元大船渡市も鷹生ダム建設促進のために組織体制を準備していた。建設事業のバックアップを行う「ダム対策室」を設置し、職員体制もベストメンバーを配置するなど協力体制をとった。

「移転者の不安を取り除くには何が必要か?」。北栃は県営ダムとして12年に竣工した早池峰ダム（花巻市大迫）の事例を参考にしながら日々の業務を行った。他県への先例地視察、腹を割っての率直な意見交換。移転者は生活再建に対する不安や心配事が多くある。それに対して北栃は誠心誠意応え、移転に対しては概ねの了解を得た。

次にやるべき仕事は、移転者8戸の移転先を決定することであった。移転者は8戸が同じ場所に移転することを強く望んでいたが、移転先の候補地は「帯に短し襷に長し」のような場所であった。大船渡市内の地図を片手に管内を走り回った。そして立根川上流付近に適地を見出した。これが現在の移転先となっている。北栃は、2年間で補償段階の基礎を固めて平成3年3月大船渡市を去った。

## 五葉山に御礼登山・用地補償調印成る

渡辺寛（わたなべ ひろし）は平成3年4月、所長として鷹生ダム建設事務所へ赴任した。渡辺に課せられた命題は用地補償基準の妥結。補償の基礎は、前任の北栃に固めてもらったが、買収単価については提示を行っていない。また、補償基準妥結調印式には、移転者の皆さんと知事の出席が予定されていることもあり、スケジュールの確保も行わなければならない。渡辺の頭の中にはいろいろな思いが巡った。



渡辺はその不安を断ち切るべく仕事に取り掛かった。最初に提示する買収単価の詰めを行った。地権者の皆さんが納得する単価と補償基準の両方を見据えながら、所内で何度も検討を行い関係機関との協議を行った。「用地担当者には苦勞をかけた」と、述懐する。

買収単価を地権者会に提示する日が来た。用地担当者に多くの苦勞をかけ関係機関と何度も協議した単価ではあったが、少々の不安もあった。同時期に進んでいた三陸縦断道工事の買収単価は、ダム建設事業の単価に比べて高めに設定されていた。しかし、補償基準をはずしての提示は出来ない。

渡辺は、単価提示の場で「この価格は、誠心誠意出せる最高限度であること、値上げ要求を見込んで控えめに出したものではないこと、これ以上の要求は受け入れられないこと、ダム事務所を信頼してほしいこと」を地権者に話した。



単価提示から1ヶ月が経過した。何も回答がないこう着状態が続いていた。渡辺は不安とあせりが募ってきた。「この事態を何とかしなければ」渡辺が取った行動は、地権者会幹部と腹を割って話し合いを行うこと。夜遅くまで話し合った。この話し合いがきっかけで事態は一気に補償妥結の方向に向かい動き出した。補償受諾の連絡を受けたのは調印式の2週間前だった。

平成3年9月25日、鷹生ダム損失補償基準の調印式が行われた。建設事務所職員は、万感の思いで調印式を見守った。いろいろな思いが巡る。その日の夜は、久しぶりにうまい酒を飲んだという。

「私たちは、五葉山の神様に守られて暮らしてきました。この地を離れるにあたり御礼を申し上げてきたい。」地権者の登山にも同行した。地権者が今まで住んでいた土地への思いが伝わってきた。渡辺は補償基準を纏め上げて平成5年の春、新しい赴任地に旅立った。



調印式



五葉山登山





移転の記  
 我がふるさと  
 日頃市町上甲子  
 おせあぐら（大沢倉）より  
 鷹生ダム建設に伴い  
 この地に移転す  
 平成四年三月

### 橋名板に地元中学生の作品を起用・付替道路工事が本格化

平成5年4月、笹岡富男（ささおか とみお）が赴任した当時は、補償基準が妥結し付替道路工事が本格化していたときだった。

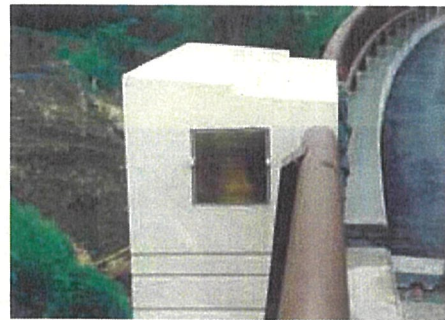
笹岡は北栃、渡辺が築き上げた地域との信頼関係をさらに強め「地域に親しまれる道路づくり」を目指してさまざまな取り組みを行った。付替道路の橋梁親柱の題材に地域の「郷土芸能」、高欄（橋の手すり）の題材に地域の植物を用いたデザインや、橋名板には地元日頃市中学校の生徒の作品を採用した。同時に橋梁の親柱をタイムカプセルとして利用し、日頃市中学校の生徒全員の作品を保存した。開封は西暦2030年。そのときは鷹生ダムが地域と一層とけあつたダムになっているだろうと笹岡は思っている。

笹岡はダム原石山（ダムコンクリートを製造するために必要な原料を採取する山）や建設発生土受入地の跡地利用なども手がけた。

現在、建設発生土受入地跡には岩手県沿岸地域で初めての天然温泉となる「五葉温泉」が営業し盛況を博している。笹岡が在籍した当時では予想だにできなかった光景であったという。このプロジェクトに携わったものとして感無量であった。笹岡は、地域との絆を深めた3年間を振り返りながら大船渡市を去った。



日頃市中学校生徒と記念撮影



タイムカプセルの入っている親柱



## 付替道路工事が最盛期・ダム本体工事へ準備着々

建設事業が8年目を迎える平成8年4月、橋本義春（はしもと よしはる）は所長として鷹生ダム建設事務所の業務に就いた。

橋本が赴任した時期は、付替道路工事が最盛期、さらに本体発注の準備に取り掛かっており事務所内は活気に満ちていた。それとは裏腹にバブル景気が崩壊し公共事業に厳しい目が向けられてきたときでもあり、計画的な予算の確保が困難な事態も発生していた。土木事業に対する財政環境が変わりつつあった。

厳しいことばかりではない。歴代の所長が醸成した地域との交流が盛んに行われ、橋本も交流の輪に飛び込んだ。地域と一体となったダム事業の推進を肌で感じる事が出来たと同時に、この厳しい情勢を踏ん張りぬいて事業を推進しようと思った。

橋本は、付替道路工事の仕上げ及び本体発注準備の基礎をつくり、平成9年3月、次の赴任地に向かった。

## 10年目・鷹生ダム本体工事始まる

佐藤喜弘（さとう のぶひろ）が鷹生ダム建設事務所長に就任したのは平成9年4月。事務所は本体発注の積算と付替道路工事の完成に向けあわただしさを増していた。

翌10年7月、待望の鷹生ダム本体の工事が始まった。鷹生ダム建設事業が開始された平成元年から数えてちょうど10年目を迎えていた。ダムの建設期間は平成19年3月までが予定されており、長いようで短いダム本体工事の始まりだった。

佐藤には忘れられない言葉がある。鷹生ダム建設工事を担当する共同企業体の森所長の言葉だ。「我々土木技術者には、自然を征服するとか、自然に挑戦するなどと思っている人はいませんよ。だって向こうは何億年の単位なんです。征服できるはずがありません。我々はささやかな人間の営みのため、自然の片隅をお借りして仕事をさせてもらっているのだと思っています。そして50年後か100年後かこのダムが何時かこの山の風景にとけこみ、ひとつの懐かしい風景となることを願っています。」

自然界から見れば人間が生まれてから死ぬまでの期間は、ほんの一瞬であるだろう。その一瞬の中での行為により自然と調和したものを創ることが出来るか、または取り返しのつかない事態に陥るのか改めて考えさせられた。佐藤は、付替道路（県道）の完成と本体工事の開始を見届け平成11年3月離任した。



完成した付替県道



堤体工起工式



県南広域振興局 土木部

周りの緑が日々その色を濃くし、焼石連峰の山々に残る雪が日に照らされて輝きを増す。青い空とのコントラストがまぶしく、これに桜が加わるからこの時期はたまらない。胆沢平野の美田を潤す奥州市胆沢区の円筒分水工の放水も、4月19日から始まりました。

## ○ 岩堰川

奥州市胆沢区、前沢区を貫流し北上川に合流する一級河川「岩堰川」には、前沢区の市街地近郊に、5m級の落差工が3基（うち1基の落差は約10m）設置されています。水量も、かんがい期と非かんがい期との差は大きいものの、厳冬期でも毎秒0.6m<sup>3</sup>（1秒間に600ℓ）を確認しております。

この水が持つ位置エネルギーを地域で活用できないか「県南広域振興局土木部」と「東北大学・大学院環境化学研究科」とが共同で取り組んでいます。

落  
差  
工



## ○ 夢を語った(前回)



平成18年11月11日に東北大学との共同で開催した「第1回岩堰川フォーラム」では、地元の方々を中心に約70名の参加者によりみんなの夢を語りました。

10班編成のワークショップは、東北大学大学院生がファシリテーターとなり、出席者からの様々な意見を、その場で見事にパワーポイントにまとめ、進められました。

※ 県土づくりNEWS 1月号に掲載

[http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/npo/h18\\_ukznews.htm](http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/npo/h18_ukznews.htm)

## ○ 6テーマの発表(今回)

平成19年3月23日に開催した「第2回岩堰川フォーラム」では、この様々な夢の中から、地域で具体的に活用できそうな6つのメニューを選定し、その実施モデルを検討しながらそれぞれ発表がありました。



エネルギーを、ロードヒーティング、牛舎暖房、作物栽培など6つのテーマで活用できないか検討しました。

テーマ別比較表

(東北大学発表資料)

区分	ロードヒーティング	牛舎暖房	作物栽培	※エタノール発酵	温水プール	人工温泉
熱エネルギーの利用	熱エネルギー需要を満たす	400 m <sup>2</sup> 程度の牛舎暖房を満たす	5,000 m <sup>2</sup> 程度の作物栽培を満たす	熱エネルギー需要を満たす	熱エネルギー需要を満たす	熱エネルギー需要を満たす
初期投資額 (重油との比較)	多い 1億2,000万円	多い 1億円	多い 1億9,000万円	多い 7,000万円	多い 1億6,000万円	多い 1億3,000万円
※1年当たりの総コスト (河川/重油)	980 (万円/年) (1.78)	746 (万円/年) (2.27)	3,400 (万円/年) (1.79)	520 (万円/年) (1.16)	1,230 (万円/年) (1.56)	2,900 (万円/年) (1.38)
環境効果 二酸化炭素排出量の削減	140 t/年	100 t/年	340 t/年	130 t/年	230 t/年	430 t/年

※1 「エタノール発酵」－岩堰川の近くに、米のエタノール発酵プラントを設置することを想定。

※2 「1年当たりの総コスト」－河川熱と水力発電による電力で対応した場合の、1年分のランニングコストと施設の原価償却費の総額である。

説明1 二酸化炭素1 tは、おおよそ25 mプール1杯分に相当。

説明2 当該数値は様々な仮定を基本として積み上げた概数である。

いずれのメニューも初期投資が大きく、「**实用レベルにはまだまだ検討が必要**」との結果となりましたが、検討は始まったばかりです。参加した皆さんからこんな意見をいただきました。

○ **ビジネスパートナー同士の意見交換から**

※回答は、東北大学

**【胆沢平野土地改良区さん】**

**意見** 1号落差工(落差約10m)の50m程上流部に取水堰があり、ここに除塵機(川から流れてくるゴミを取る装置)が設置されています。モーターでスクリーンを上下させているが、この電源に活用できないか検討してほしい。

**大学** 除塵機の設置場所が落差工に近いという点で、かなり有効であると考えます。重要な検討課題としたいので、施設の情報をいただきたい。



**[奥州市衣川総合支所 地域エネルギー推進室 渡辺さん]**

**意見**

推進室ではエタノールとバイオマスの活用について検討を進めています。

このフォーラムの影響もあって、水についても考えていくことにしました。

効率的にエネルギーを活用するという観点から、河川水の温度が下がる冬期は、暖める熱源として利用するより、冷却に利用する方法が考えられないか。また、水力により発電した電力は充電器に蓄え、充電所を設置し、ハイブリット型自動車などの電源に利用する方法もあると思う。さらに、初期投資の算定で使われている償却年数は実際より非常に短いと考えられ、機器全体の更新ではなく壊れやすいパーツのみの更新とすると、相当初期投資の節減となると思う。

**大学**

イニシャルコストは最大で検討しているので、その低減は可能であると考えています。発電した電力は電気のまま使うのが最も効率的な利用方法であり、充電所の発想は新しいテーマとして、検討したい。「寒いときに暖かく」より「寒いときに冷却に」の利用が効率的であることも理解できます。

**このような意見交換があり、平成 19 年度開催予定の  
次回フォーラムに夢は託されました。**

○ **担当者から**

県南広域振興局土木部主任主査 菊池二三男

4月27日からバイオエタノール入りガソリンが首都圏のガソリンスタンドで試験販売されております。

「岩堰川の位置エネルギー」の活用策は、初期投資で既存エネルギーとの比較では劣る（現時点で）としながら、地球温暖化対策としてのCO2削減効果はかなり大きいことが判りました。

これからの展開を方向付ける「**需要先の確保**」ですが、これも胆沢平野土地改良区が管理する、農業用水取水施設の**除塵機で必要な電力**としての活用について検討することとなりました。

そもそもこの取り組みは、県南広域振興局前土木部長 菊池光雄氏（H19年3月退職）の提案から始まりました。県庁砂防課（当時）傾斜地保全係長時代に 県内の溪流を調査した際、「その当時から、岩堰川の落差には着目していた」とのことでした。

これから具体化に向けては、需要者や事業費の確保のほか法制度等も大きな課題となることは事実です。まだまだ時間がかかりますが、先輩の意を大切に、地域と語り、ケーススタディーのみに止まらないように対応したいと考えております。

関係者のみならず、この記事を読んでいただいた皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



[意見交換]



# 環境共生 津付ダム周辺環境検討委員会を開催

大船渡地方振興局土木部津付ダム建設事務所

津付ダムは、住田町と奥州市の境に位置する「種山ヶ原」の麓にあたる、住田町世田米の気仙川水系大股川に建設を計画している治水専用ダムです。

ダム建設予定地周辺は、自然環境に恵まれたところであることから、ダム建設等による周辺環境への影響をできるだけ回避又は低減するため、県内のダムでは初めて、県条例に基づく環境影響評価書を取りまとめ、平成18年3月には、公告・縦覧（公にお知らせし、見るができるようにする）の手続きを完了しています。

この環境影響評価書の内容を確実に実行していくため、当所では、独自に設置した動植物等に関する専門家で構成する「津付ダム周辺環境検討委員会」など、学識経験者等の意見をいただきながら、具体的な自然環境保全措置等を行っていくこととしています。

なお、委員会は、貴重野生動植物生息位置等の情報守秘のため非公開で開催していますが、その議事内容は津付ダム公式ホームページ等で公表し、県民の皆さまに情報提供していきます。

## 第8回津付ダム周辺環境検討委員会

日 時：平成19年3月2日（金）  
13時30分～15時  
場 所：アイーナ特別会議室（盛岡市）  
主要議事：

- ①希少野生動植物（ミヤマタニソバ、ハナカジカ、クマタカ）の保全対策
- ②最新の調査結果報告及び今後の方針



委員会討議状況

## ～ 津付ダムからのお知らせ ～

津付ダム建設事務所では、数百ページに及ぶ環境影響評価書の要点のみを抜粋した「津付ダム建設事業 環境影響評価の概要」パンフレットを作成し、津付ダム公式ホームページからのダウンロードサービスを行っています。

このほか、気仙川航空写真ダウンロードや気仙川浸水想定区域図の掲載など、様々な情報を発信しておりますので、是非ご覧ください。

○津付ダム公式ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/>

○お問合せ先 津付ダム建設事務所 (TEL 0192-48-3123 FAX 0192-48-3121)





# パートナー紹介 パートナー紹介

みんなで創るみんなの県土！ 社会資本の整備と活用を通じた地域づくりを！

県土整備部は、地域、NPO、市町村など様々な県民の方々との対話を重ね、皆さんの知恵と工夫を集めて、事業を進めようとしています。

このコーナーでは、NPOなど行政にはない得意分野を持った方々の活動や、地域の実情に合わせて独自に取り組んでいる地域や市町村の取り組みを紹介します。

第2回目は、道路愛護会と協働で道路整備している陸前高田市の取り組みを紹介します。

## 陸前高田市 市民による市道の整備

### ☆ 団体概要

道路愛護会とは、陸前高田市内の道路、橋、側溝等の維持および良好な管理をするために昭和34年3月から設立されました。

道路愛護会は行政区単位で組織されており全123組織

全道路愛護会員数は7977人

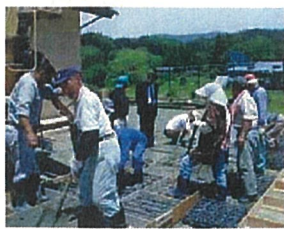
### ☆紹介する活動概要（協働）

陸前高田市は、地域住民により設立された道路愛護会が自ら市道を改良する場合、事業費の半額（限度額50万円）を助成する制度を平成14年から始めています。

その制度を活用し、平成18年度は11件(497.8万円)の市道整備が行われました。

今回はその中から、気仙大工の技術を活かした取り組みをご紹介します！

地域に住む50代後半から75歳までの元型枠大工、元左官の方が中心となり、気仙大工の技術を生かして側溝蓋を210個(0.60×0.60×0.12)作成・設置しました。



本格的  
です



お疲れ様  
でした



都市計画課発!

# いわての“まちづくり”って、 色んな種があるんですね。

～平成18年度「いわてまちづくり支援事業」から～

先駆的な市民団体、NPOの「まちづくり活動」を5回シリーズで紹介します。今回は第2弾!

## 松園ニュータウン 再生・活性化に 関する調査事業

生活支援サービス産業まちづくり  
研究会

### ■ こんな事業です(事業概要)

#### ◇きっかけ◇

- \* 昭和40年代に整備された松園ニュータウンは、施設の老朽化、住民の高齢化、子どもたちの転出による人口減少など、様々な問題を抱えています。
- \* このままでは、まちの活気も失われ、安心して地域に暮らすことも難しくなってきってしまうかも知れません。そこで、今後の松園ニュータウンをどのように再生・活性化させるか、調査を行おうと「生活支援サービス産業まちづくり研究会」が立ち上がりました。

#### ◇事業の内容◇

- \* 団地問題について考えるセミナーの開催、住民ニーズの把握のためのワークショップ、アンケート調査を実施。
- \* 高齢者・子育て支援や増え続ける空家活用のための検討会を開催。

### ■ ここが事業のアピールポイント

- \* 増え続ける空き家活用については、コミュニティビジネスによる解決モデルを提示。一見、利用価値がないように見える空き家ですが、広い家を望んでいる若い子育て世代に、低価格で貸すことが出来れば、子育て支援にも、松園の活性化にもつながります。平成18年度は、この住み替えモデルの提示を目指しました。
- \* また、高齢者や子育て世代の支援のために、情報交換や共有の場を設けるための準備作業を行いました。
- \* 平成19年度、このような取組みを少しずつ進めて行く予定です。

### ■ もう少しこうやっていたら…(反省点)

- \* 町内会との連携が今ひとつ不十分で、うまく住民の方々の参加を得ることが出来ませんでした。このような事業を実施する際は、既存の団体・システムを上手く活用していかれるかどうかで、成功の可否が大きく左右されるようです。



団地問題を話し合ったセミナー



住民参加のワークショップ

[問い合わせ先] “地域における地域主体のまちづくり、まち育て!”

★ 岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり担当 電話：019-629-5892 FAX：019-629-9137

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 E-mail: AG0007@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0604/01machi/machi/machitop.htm>



# TOPICS

## 猿ヶ石さくらロード「スプリングサイクリング」を開催

### 遠野土木センター

岩手県が整備してきた遠野市東和自転車道（愛称「猿ヶ石さくらロード」）で4月30日、猿ヶ石川沿いの桜並木を通る約6kmの区間を利用して春のサイクリングが行われ、約70名の参加者が思い思いにペダルをこいでサイクリングを楽しみました。



小学校4年生になったばかりなので、自転車道を走るのは初めて。楽しみです。

出発前のインタビューに答えてくれた  
澤村祐之介君（遠野市）

「緑のふるさと協力隊員」として宮崎県から遠野市へ赴任し活動している清田亜希隊員を先頭に、参加者は途中にあるチェックポイントでクイズに回答しながら進み、ゴールでは全問正解者に「カップ捕獲許可証」が手渡されました。



サイクリングの様子(下組町付近)

参加した方は心地よい疲れの表情で、「平坦で走りやすいコース、普段は車で移動しているが今までと違う景色が楽しめた」「車が来ないので安心して子どもと走れる、案内表示も充実していた」と感想を語っていました。

サイクリング当日は残念ながら桜はまだつぼみの状態でしたが、ゴールデンウィーク後半は満開となり好天にも恵まれたため、たくさんの方々が桜を見に訪れていました。



徒歩での利用もできます

なお、今後は夏に「サマーサイクリング」、秋に「オータムサイクリング」も予定されています。遠野市観光協会ではレンタルサイクルを用意していますので遠方からご利用になる方はどうぞご利用下さい。

さあ、皆様も伝承園やかっぱ淵をはじめ伝説や、昔懐かしい風景に彩られた自転車道を走ってみませんか？車で通過するだけではわからない遠野の“空気”を肌で感じられるはずです。



満開の桜と自転車道(綾織町)



# みんなの声

平成 19 年 2 月に、県土整備部に寄せられた県政提言への取り組み状況について掲載します。

## みんなで創る みんなの県土

これからも皆様の声を大切に、県土づくりを進めてまいります。

### 【空港】

opinion/idea/proposal/recommendation

ニュースで花巻―福岡直行便が平成 19 年 9 月末日をもって実質的に廃止されることの連絡報道がなされていきました。知事等皆様の努力の結果、関西国際空港での乗継ぎに配慮がいただけたということですが、到着時間が今までより 1 時間以上かかるということはいなめません。

今後は県としても運行再開を働きかけるということですが、同時に他の航空会社への就航依頼を検討されてはいかがか。最近では小型機を運航している航空会社もあるので是非福岡便を毎日就航させてほしい。

2007/2/1/電子メール

いわて花巻―福岡線の運休については、航空会社からの申入れ撤回に向けて協議を続けてきました。

しかしながら、運休の申入れが経営再建という差し迫った事情に基づくものであり、また、休止後の利便性を確保するための措置として関西国際空港での乗継ルートを設定する旨の説明があり、乗継時間が比較的少ないダイヤが毎日確保できるメリット等も考慮のうえ、県として大変遺憾ではありますが申入れを受け入れることとしたところです。

今後とも、運航再開に向けては航空会社に限らず航空会社との協議や要請を行うなど、広く可能性を探ることとしていますので、引き続きいわて花巻空港のご利用とご支援をよろしくお願いします。

### 【都市計画】

opinion/idea/proposal/recommendation

滝沢村室小路土地区画整理の知事認可延長を申請する為に、組合の総会で組合員から賦課金を徴収する内容の定款変更が可決されたが、総会自体も議長を以前に理事を解任された人を指名したり、賛成に署名した人たちの一部には確約のない内容にも関わらず脅しとも取れる発言があり、組合、理事会の不透明さが払拭できないので、延長申請を書類確認だけで済ませないでほしい。

2007/2/1/知事ホームページ

室小路土地区画整理事業に係る事業計画の変更の認可については、土地区画整理法に定める基準に基づき、規定に該当する事実関係を確認し、適正に処理します。

### 【ダム】

opinion/idea/proposal/recommendation

築川ダム建設予定地について、築川の清流は良い風景です。防災と水資源の有効利用という趣旨でしようが差し迫った問題なのか。県民の総意なのか。一部の利害関係に関与する人たちの扇動は断じて無かったのか。

巨額な費用は生活に困っている人達の一助とできないのか。

2007/2/5/電子メール

築川は、大雨のたびに洪水被害を受けてきており、古くは昭和 22 年、23 年のカスリン、アイオン台風をはじめとし、昭和 54 年の台風 20 号や平成 2 年の台風 19 号などにより河岸の決壊や家屋、農地などへの溢水被害が相次いだ他、内陸部と沿岸部を結ぶ幹線国道である国道 106 号が通行止めになるなど地域経済や市民生活に甚大な被害を及ぼしてきています。

このような中、築川流域は盛岡市街地の近傍であることから、その沿川では区画整理事業やミニ団地の造成などにより開発がなされ、河川の治水安全度が極端に低下したことから、地元盛岡市や沿川住民から恒久的な治水対策が求められていました。

このため県では、沿川の土地利用状況や周囲の環境、事業に要する経費等、社会的、経済的な要因や



地元の意向等を踏まえ、河川改修とダムを組合せた治水対策を採用することとしました。

平成17年度には、築川ダム建設事業の再評価を岩手県大規模事業評価専門委員会に諮問し、県民意見を把握した上で審議がなされ、事業継続が妥当との答申を得ています。

厳しい財政状況ではありますが、コスト削減に努め、地域の課題や住民ニーズに的確に答えていくことが行政の使命であると考えていますので、ご理解をお願いします。

### 【除雪】

opinion/idea/proposal/recommendation

平成18年度は暖冬の為、除雪費用の予算が大幅に余っていると思うので、来年の予算に繰り越してほしい。帳尻合わせの使い込みはしないでほしい。

2007/2/19/文書

除雪は、実施要領で出動基準や除雪水準を定め、安全な交通を確保するために必要な場合に実施しており、その年の降雪状況に応じて必要な予算を措置しています。

### 【指導】

opinion/idea/proposal/recommendation

量産住宅が横行しているため、職人の工賃や工務店の仕事が減り、半額の工賃で労働を強いられている。量産住宅業者の現場に二級施工管理技師以上の資格を持つ常駐の現場員が必要ないようにしてほしい。

規模の大きい量産住宅の現場に常駐の現場員が一人いなければならないという県条例をつくってほしい。

2007/2/21/電子メール

公共及び民間を問わず、工事における主任技術者等の配置については、建設業法により規定されています。県としては、民間の大規模な個人用住宅工事においてのみ、技術者等の常駐を求める条例を制定することは、当該法令の上乗せ規定に当たる為、現時点では考えておりません。

建設業法では、請負金額が一定の額以上の建設工事を行う場合には、所定の資格・経験のある主任技術者を配置することになっています。特に、公共性のある工作物に関する重要な工事においては、主任技術者等は工事現場ごとに専任の者であることが必要ですが、常駐することまで求められておりません。また、民間個人用住宅工事については、専任の者である必要もありません。

### 【道路】

opinion/idea/proposal/recommendation

東北自動車道の中尊寺パーキングエリアから、町内に入りできるようスマートICを設けてほしい。藤原祭り前までに実験を開始してほしい。

2007/2/21/知事ホームページ

国では、高速交通ネットワークの効率的活用、機能強化を目的として、地域との調整を図りながらスマートIC（ETC専用IC）の整備を進めているところです。

スマートICは、SAやPAに隣接する一般道路にETCゲートを設けることにより、高速道路から乗入れが出来るICであり、接続を希望するSAやPAに隣接する道路の管理者が設置するものです。ご提案の実験については、関係自治体等と検討してまいります。

全ての提言をご覧になりたい場合は、  
県政への提言  
広聴広報課ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.iwate.jp/~koucho/index.html>



## 参加してみませんか

## ○第1回住まいる講座

- 日時 平成19年6月30日(土)午後
- 会場 アイーナ4階アイーナプラザ
- テーマ サスティナブルな住宅(仮題)
- 講師 内田 信平さん(盛岡短期大学講師)

※パネル展も同時開催!

※サスティナブルとは、持続可能なという意味

サスティナブルな住宅とは、地球環境や人への負荷を極力抑え、長寿命化することで、環境をできるだけ維持し続けられることを考えて計画・建築された住宅のこと。

詳しくは、6月号で紹介します。

## ■問い合わせ

建築住宅課住宅計画担当 019-629-5932

ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/~hp0608/>



## 各課・各局のHPの新着情報から

## ○ホームページ新着情報から4月更新

## 建設技術振興課

- ・ 建設業懇話会の報告書を掲載しました。
- ・ 平成19年度土木関係設計単価表を公表しました。

## 道路建設課

- ・ 【岩手の道づくり】一般県道雫石東八幡平線活用計画を更新しました。
- ・ 【道路広報】広域農道に隣接する小岩井農場一本桜が注目を浴びています。
- ・ 【開通情報】主要地方道盛岡和賀線笹間工区が部分開通しました。
- ・ 【開通情報】主要地方道大船渡綾里三陸線 赤碓中学校前工区・小石浜工区が開通しました。
- ・ 【お願い】道路整備の中期計画の作成に向けてのアンケート調査にご協力願います。
- ・ 【道路広報】第30回東北地方道路写真コンテストの募集を開始しました P24に記事掲載

## 砂防災課

- ・ 土砂災害警戒区域等の指定状況を更新しました

## 都市計画課

- ・ まちなみ清爽隊第1次募集のお知らせ P25に記事掲載

## 港湾課

- ・ いわての港における SOLAS 対応のお知らせ

## 岩手出張所

- ・ 岩手出張所通信5月号を発行しました

## 遠野土木センター

- ・ 猿ヶ石さくらロード「スプリングサイクリング」開催 P19に記事掲載

## 一関総合支局

- ・ 一般国道342号の冬季通行止め解除について

## 釜石総合支局

- ・ 釜石港公共埠頭拡張工事完成しました。

## 築川ダム建設事務所

- ・ 第10回築川流域懇談会会議結果のお知らせ

## 津付ダム建設事務所

- ・ 『津付ダム建設事業環境影響評価の概要』を掲載しました。P16に記事掲載。

## 花巻空港事務所

- ・ いわて花巻空港ガイドブックを発行しました。



# お知らせ

山の春を感じに出かけませんか！

## 八幡平アスピーテライン・樹海ラインの冬期通行止解除！

八幡平アスピーテライン（主要地方道大更八幡平線）と八幡平樹海ライン（一般県道八幡平公園線）の冬期閉鎖区間の開通式は、4月26日午前10時に緑ヶ丘ゲート前で行われました。

まず初めに、盛岡地方振興局の宮舘局長、岩手警察署吉田署長、八幡平市の小林副市長によるテープカットが行われた後、ゲートの鍵が開けました。ゲートは、八幡平さくらの女王の宮野奈津美さんと開通を待ちわびていた一般のドライバーの方々により開けられたことにより開通式が終了。道路パトロールカーの先導で山頂に向けて出発しました。

当日は、小雨が降るあいにくの天気。山頂付近は小雪が降っている上に霧で視界が悪く、八幡平の厳しさを象徴するような状況でした。今年は暖冬の影響で回廊の高さが例年より1～2メートル程度低くなっていますが、その景観は壮大です。遅い山の春を探しに是非一度お出でください。

なお、開通後も当分は夜間（午後5時～翌朝8時30分）は通行止めとなります（例年5月末頃まで）。また、降雪等により日中も通行止めとする場合もありますので、お出かけ前には、ラジオ等の道路情報を御確認ください。

また、天候が変わりやすく、5月に入っても路面が圧雪・凍結となっている場合がありますので、すべり止め装置の携帯をお忘れなく。



雪の回廊



パトロールカーの先導



開通前の除雪作業

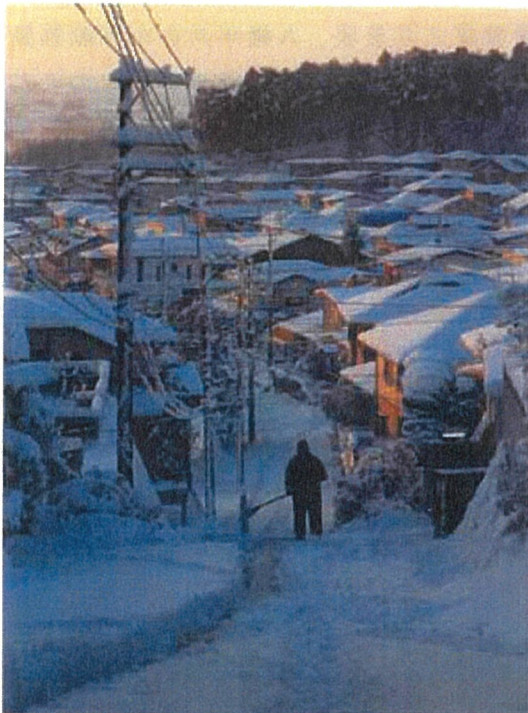
問い合わせ 岩手出張所 電話 0195-62-2888



## 2007 東北地方道路写真コンテスト 作品募集!!

～ いつもの道が 特別な道になる その瞬間を 撮るために。～

### 道路建設課



日常生活で私たちに最も身近な公共施設である「道路」に対する関心と理解を深めていただくため、今年も東北地方道路写真コンテストを開催します。

第30回の開催を迎える今回、新たに一般の部において東北6県毎に優秀作品賞を設定しました。岩手の道路とその役割や、人と道路の関わりを写しこんだ作品、地域の特色を生かした道路に関する写真など、岩手県の個性が映し出された写真をお寄せ下さい。

募集部門は、「一般の部」「小・中学生の部」「高校生の部」があり、優秀な作品には、賞状、賞金、盾が授与されます。入選作品は、道路のパフレットなど広報資料として広く活用させていただきます。



募集期間：平成 19 年 5 月 31 日（木）必着

応募部門：「一般の部」「小・中学生の部」「高校生の部」の3部門

テーマ：「東北の道路」（各部門共通テーマ）

賞：各部門、それぞれ優秀な作品には賞状、賞金、盾等が授与されます。

応募用紙：振興局土木部、道の駅、市町村役場等で入手できるほか、  
国土交通省東北地方整備局ホームページからダウンロードできます。  
（アドレス：<http://www.thr.mlit.go.jp/road/>）

問合せ先：道路建設課 tel：019-629-5866



# お知らせ

はい！こちら『**まちなみ清爽隊**』です。

**岩手県では、ただいま、「まちなみ清爽隊」を募集しています！！**

**第1次募集：平成19年5月1日(火)～31日(木)**



## Q 「まちなみ清爽隊」ってなに？

まちの美観を損ねる要因の一つとなっている電柱などへのはり紙は、県の屋外広告物条例に違反しています。この違反はり紙を「ほっておけない！」「自分たちではがそう！」という人たちを、岩手県では「まちなみ清爽隊」として認定しています。

いつもはり紙で困っている地区の町内会の皆さん、何かボランティアを始めてみようと思っている方、気軽にできる『まちなみ清爽隊』の認定をうけてみませんか？

## Q 「まちなみ清爽隊」に認定されると？

県の事務の一部をボランティアで行っていただくこととなりますので、活動中の事故に備えてボランティア保険への加入手続きを取ります（保険料は県が負担します）。また、はり紙はがしに必要な道具（剥離剤、へら、ゴム手袋等、腕章）をお貸しします。

活動日などの制限はありません。ちょっと手が空いた時間にご自由に活動いただけます。



## Q 活動している人は他にもいるのですか？

現在、県内で、20団体、200名程度の方が活動しています。

## Q 問い合わせ先は？

最寄りの振興局土木部か、下記担当まで気軽にお問い合わせください！！

詳細はホームページでもご覧になれます。（検索エンジンで“まちなみ清爽隊”でヒットします。）

問い合わせ：岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり担当

電話：019-629-5892

FAX：019-629-9137

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0604/01machi/okugai/harigami/harigami.htm>